

PTA 研修便り 第2号

平成 29 年 12 月 21 日 発行

平成 29 年 11 月 15 日（水）「アクテック株式会社」への見学会をおこないました。
当日の参加者は、教員、保護者合わせて 13 名でした。

場所は JR 学研都市線長尾駅から徒歩 20 分、
又は長尾駅・京阪樟葉駅からそれぞれバス
で『家具団地』下車すぐ。

アクテック株式会社は従業員約 50 名、各種アルミケース・ソフトケース製造販売の会社です。企業向けの量産から個人の受注生産まで、設計・製造・販売を一括して行っています。会社兼工場は枚方家具団地にあり、整備された工場でありながら家庭的な雰囲気職場で、現在たまがわの卒業生 3 名が就労しています。また、大阪府障がい者サポートカンパニーの優良企業に選ばれています。



見学会の報告

～見学の流れ～

玄関から事務室を通り抜けて会議室へ。社員の方々がにこやかに挨拶してくださいました。ご挨拶の後、専務の芦田さん、工場長の山口さんから、今日の見学についての概要説明がありました。2グループに分かれて工場見学 → 会議室にてこれまでの就労支援の取り組みについてパワーポイントを使って説明 → 現在働いている卒業生との質疑応答（卒業生の仕事の手を止めての参加を設定してくださっていました）という流れでおこなわれました。



1. 工場見学

この会社は『アメーバ経営』（部門別採算制度）を採り入れていて、各部門の小集団（アメーバ）ごとに日次・週次・月次の利益を独立採算することにより、個人の日々の収益額が明確になり、社員の採算意識が高まるとともに、グループで仕事をこなす

ていく事でグループ内での経営課題が明確になり、仕事量には個人差があることを認めたい。えでの相互協力が行われやすくなっている。支援が必要な方々にも働きやすい環境が整っている（見える経営）。

○1階

＊アルミケースの素材（部品・面）のカットやプレスを行う。8名の従業員のうち、精神・知的障がいのある3名を含むが、アメーバ4部門中最も採算性が良い。



○2階

＊製品組み立てのライン。

量産・受注生産ともにほとんどの作業をハンドメイドで行う。

＊電機メーカーの動作部品を組み込む作業を行う。

＊ソフトケースの縫製作業を行う。

＊その他検品や段ボール箱の組み立てなどが行われていて、卒業生2名も働いていました。

2. 会社概要の説明

（全員に会社のパンフレットとお土産をいただきました）

①企業紹介および商品説明

1972年、門真市においてハクバ写真工業株式会社としてアルミケース、アタッシュケースの製造を開始。1981年、枚方市に移転。三洋電機、パナソニック、シャープなど関西企業や、キャノン、ニコン、富士フィルムなどとの関係が深かったが、大企業の海外への工場移転による産業空洞化の影響を受けた。その後、メイドインジャパンのよさを生かし、自社で設計・生産・販売の全てをおこなう「ものづくり」の会社として優良な商品を提供している。



2003年、アクテック株式会社に社名変更。製品はOEMでの大量生産から、個人・企業問わず1台からのオーダーメイドまで多岐にわたる。例）クロネコヤマトのセキュリティケース、自衛隊などの特殊な機器を納める特注のケース、メジャーリーガーのバットケースなど。

②精神障がい者雇用のきっかけ

この会社の障がい者の受け入れは 27 年前から。1988 年の精神衛生法の改正を受け、1990 年当時の枚方保健所が、会社が出している求人票（一般）を見て、「精神障がい者を普通に働かせていただけませんか」と依頼されたのがきっかけで、1991 年に 3 名を雇用。

③アメーバ経営の導入

その後、AV 不況、バブルの崩壊の影響などで業績の悪化に直面するも、企業はただ利益を追求するだけでなく社員の幸福と地域社会への貢献のために経営すべき、との決意のもと、リストラ無しで障がい者を雇用し続けた。「自分たちには障がいに対する専門的な知識は無いが、会社として 20 数年間関ってきた実績がある。自分たちは就労支援ではなく自立支援をしたい」「問題が起こることもあるが、それはシステムを変えることで解決できるのではないか」としてアメーバ経営を導入し、様々な試行錯誤を重ねた。結果ここで働く障がい者の定着率は平均の二倍近くになっている。

④なぜ障がい者を雇用するのか

この会社は効率主義でなく、全国に 700 万～900 万人といわれる障がい者に働く場を提供するのが企業の責任であると考えている。また、「まじめな人間性と忠誠心のある人を大切にしたい」との思いから、障がい者と一緒に働くことで学ぶことも多く、ある意味社員教育ができると考えている。雇用率は 10% 近くある。

⑤雇用にあたって

- ＊障がいの内容と特性をオープンにしてもらう（一緒に働く人に周知する）
- ＊訓練期間を置いている（半日勤務からスタート）
- ＊就労したいという強い意思を持った人を尊重している
- ＊当事者、会社ともハンディを認める

⑥入社時のお願い

- ＊自分の志を明確にする
- ＊そのための努力目標を定める
- ＊自らの意志で目標達成のための行動を起こす（レポート作成により意思表示をする）



⑦入社後の待遇

まったく区別はないが、その人のレベルに合った仕事をしている。健常者と同様に半年に一度評価会議を行い、長所・短所をしっかりと把握し、次期にどうレベルアップするかについての期待水準が示される。その評価は本人にフィードバックされ、昇格すれば時給もアップする。

⑧仕事の場での自己実現をめざす

本人が自分の仕事の成果を把握し明確にできることで、自己実現の取り組みができる。具体的には 30 分ごとに自分の作業日報（製品番号ごとにその内容・個数を記録）を記入して、自分の仕事を把握しながら作業する。←たまがわの卒業生はメモをとる習慣があり、きちんと記録できている、とのこと。

⑨チームで評価する取り組み

仕事は個人ではなくチームです。2006 年から毎年チーム対抗のコンペ（収益率を競う）を実施している。障がい者混成チームは最初は最下位だったが、2011 年からは常に 4 部門中トップになっている。これは彼らの「仕事で認められたい」という強い気持ちと、彼らがいることで部門全員が障がい者を理解しフォローし創意工夫することで、チームワークが格段に向上したことによる。



⑩一緒に仕事をして気づいたこと

日々、単純な作業と複雑な仕事を組み合わせて経験することにより、障がい者も含めて全員が多能工化できたということ。

⑪最も重視していること

認める・任せる・褒める。社員全員が、自分の意志で誇りをもって仕事をできる環境を作っていくこと。

3. 卒業生との質疑応答

参加してくれた卒業生 *T さん（ものづくり科 7 期生 3 年前に卒業）

*M さん（ものづくり科 9 期生 昨年度卒業）

ここから社長の芦田様もご参加いただきました

○入社時の志は何でしたか？

*T さん ここならうまくやっていけるという安心感がありました。2 回実習に来ました。

*M さん いろいろな仕事ができるからです。

○何の仕事をしている時が楽しいですか？

*T さん 段ボール箱作り、梱包、圧着などが好きです。

*M さん 全国の警察で使っているカメラの支柱のメンテナンスが楽しいです。

○学校で学んだことで、役に立っていることは何ですか？

- *Tさん ものづくり科で学んだノコギリの使い方やヤスリのかけ方、機械も使っていたのでそれも役に立っています。
- *Mさん 学校で危険な機械の扱いに慣れていたので、ここでの仕事も自信を持って行うことができます。
- *工場長さん たまがわ生はレベルが高いですよ！

○お昼休みはどんな事をして過ごしていますか？

- *Tさん 歯を磨いたり、昼寝をしたりしています。
- *Mさん ゲームをしています。

○通勤時間はどのくらいですか？

- *Tさん JRで30分ぐらいです。
台風で電車が止まった時は父に車で送ってもらいました。
- *Mさん 電車とバスで60分ぐらいです。
- *工場長さん 二人とも欠勤はほとんどありません。春と秋に行っている社内行事のバーベキューにはご家族も参加してくれました。
- *専務さん Tさんが同期生2人で入社し、後に後輩のMさんを迎えたことは、会社になじみやすくなって良かったと思います。会社にとっても学校時代の先輩後輩の関係がそのままあるので、先輩としての声かけなどをしてもらえて良かったです。
- *Mさん ご飯の時とかに話ができて嬉しいです。
- *社長さん 6月に社員旅行がありますが、Tさんがカラオケで盛り上げてくれました。Mさんがダンスを披露してくれたこともあります。二人とも楽しんでます。



○二人ともとてもがんばっていると思います。さっき工場見学のときに話しかけたら、敬語で返事をしてくれました。成長が感じられて嬉しかったです。

仕事をしていて嬉しいことは何ですか？

*Tさん 糊塗りをリーダーに褒められたことです。

*専務さん 箱の組立も一番速いです。

*Mさん 検品でちゃんとしていると褒められたことです。

*社長さん Tさんはごみ捨ての管理もしてくれていて、必ず毎朝ゴミ箱のセッティングをし、帰りに捨てて帰ってくれています。

○休日の過ごし方を教えてください。

*Mさん 公園でバスケットをしたり、ゲームをしたり、昼寝をしたりしています。

親子でカラオケに行くこともあります。

*Tさん とにかく爆睡しています。ジムに行ったりもします。

○週休2日ですか？

*工場長さん 週休2日制です。

*社長さん 毎年8月中旬に次年度の日程を出して、次年度の出勤日、休日、会議、行事などを早い段階で把握できるようにしています。

○休日出勤はありますか？

*社長さん

日々の成果をきちんと確認しながら業務を進めていて、極力無いようにしています。

○お給料は何に使いますか？

*Tさん 本を買います。

*Mさん 買い食いをする。

*Tさん・Mさん 貯金もしています。



○家族に親孝行をしていますか？

*Tさん

父に育毛剤、母に白髪染めをプレゼントしました。仕事の話とかもします。

*Mさん

誕生日にプレゼントを渡しました。たまに米洗いとか洗濯物の取り入れを手伝います。



みなさんの感想

○卒業生のお二人は安心できる環境で元気に働いている様子でした。欠勤も少なく、社内行事にも楽しんで参加されているとのこと、先生方も安心され、職場での成長ぶりに感動しておられました。「保護者の方々には就労に関して心配なことがいろいろあるでしょうから」と直接話をする場を設定していただき、言葉を交わしてほっこりし、わが子の数年後の姿に思いを馳せることができました。お心遣いに感謝いたします。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

○見学会ありがとうございました。ただ制度として受け入れるのではなく、制度が整う以前から、ともに働く仲間として、試行錯誤や挑戦を繰り返しながら歩んでこられたのだということが、会社の皆様のあたたかい雰囲気から伝わってきました。こんな会社が増えていってくれば、と思いました。

○今回2回目の見学でしたが、1回目と全然違うところでしたので、実際に目で見ることの大切さを実感しました。卒業後、自分の子どもがどんなところに落ち着くのかを想像し見学会に参加していますが、1回目と2回目の違いの幅広さを感じ、これは今後も見学会に行かねば、という思いが強まりました。

今回は実際に就労された卒業生にお会いでき、質問もできる時間がありました。次回からは質問する内容も準備し、子どもが就労するうえで我が家にとって大切なことは何かを考えていきたいと思います。たいへん勉強になりました。ありがとうございました。

○厳しさの中にも優しさのある職場で、卒業生の方たちはがんばっていらっしゃるのだな、と感じました。見学させていただいたときに、はじめはあちこちに掲示されている時間当たりの採算の数字を見て正直なところプレッシャーにならないのかな、と思ったのですが、後の説明で、チームでがんばっていることや個々に応じた目標を決めていること、数字で明確にすることでやる気が出ていることを聞くと、良い点もたくさんあるのだと納得しました。そして何より、お二人の卒業生の方がきちんと仕事に取り組む姿は本当に頼もしく立派に見え、質問にも誠実に答えてくださり、充実した会社生活を送られていることがわかりました。“仕事にむいている”“会社にあっている”というのも元々あったと思うのですが、それ以上に入社してから職場の方も卒業生のことをわかろうと、卒業生の方も会社の期待に応えようと、お互いにたくさん努力してより良い関係が築けるということもひしひしと伝わりました。わが子も良い関係が築けて成長していけるような職場に就労できるといいな、と思います。また、会社の方が就労を支援しているのではなく、自立を支援しています、そこまで考えています、という言葉は心に残り、わが子の望む自立の仕方を実現させるにはどうすればよいか、もっと勉強し、考えていかなければ、と思いました。

○たまがわ卒業生のお二人がまじめに丁寧に作業されている姿が印象に残りました。たまがわで教えていただいたことが社会に出て役に立っていると言われていました。

○スライドで説明していただきましたが、その中に書かれている言葉や思いなども素晴らしいかったです。卒業生の働く姿を見られたこと、また、大勢の前で質問に答えている姿なども見られて、働くということは本当に、しっかりしていくことやたくましくなっていくことなのだと感じました。社員の方々の、見守るようで、期待もしてくれており、仲間として一緒に働いていることを誇りに思っているような姿も見ることができて、嬉しかったです。

○お忙しい中、細かいところまで見学させていただきありがとうございました。アクテック株式会社様の真摯なお取り組みに本当に感銘を受けました。また、たまがわの卒業生の方々のお話を聞くことができ、明るく元気に働かれている様子も拝見し、本当に良い会社だと実感しました。私の子どもは不器用なのでこちらで働くのは難しいかもしれませんが、今後も活動を継続いただければたまがわの卒業生が皆々活躍できると思います。ぜひよろしくお願いいたします。

